

Ⅱ 事業の概要

2013年度に行われた学校法人及び設置学校における事業の概要は、次のとおりです。URLがある場合は、ここから当該事項の詳細を御覧いただけます。

1 重点施策の推進

(1) 学校法人明治大学中期計画の策定～長期ビジョン（将来像）の実現に向けて

学校法人明治大学長期ビジョン（以下「長期ビジョン」という。）は、建学の精神にのっとり、本学が「新しい知の創造」及び「次代の要請に応える人材の育成」の拠点であり続けるとともに、世界に大きく飛翔するため、創立150周年を見据えつつ、当面する今後10年間の強化の方向性及び理念について定めたものです。

※ http://www.meiji.ac.jp/chousaka/longterm_visions.html

この長期ビジョンを具体化するための礎となる「学校法人明治大学中期計画」を策定するにあたり、学校法人明治大学中期計画策定委員会（以下「中期計画策定委員会」という。）を設置し、2013年10月から検討を開始しました。

中期計画とは、「長期ビジョンを具体化するための中期（＝4年）の計画」と位置付けられ、第1期を2014年度から2017年度、第2期を2018年度から2021年度に分けて策定することとしました。具体的には、長期ビジョンに定めた7つの施策（ア教育、イ研究、ウ社会連携・社会貢献、エ国際連携、オ施設設備整備計画、カ財務戦略、キ組織・運営体制）の基本方針を基に、「中期目標（＝4年後の達成目標）」及び「中期プラン（＝目標達成に向けたロードマップ）」を作成します。検討体制として、中期計画策定委員会の下に3つの専門部会（ア教学専門部会、イ財務戦略・施設設備整備計画専門部会、ウ組織・運営体制専門部会）を設置し、それぞれ常勤理事が座長となって中期計画の策定を進めています。

(2) 「中野キャンパス」誕生～明治大学第4のキャンパス

本学4番目で約60年ぶりに誕生した中野キャンパスが、2013年4月から本格始動しました。中野キャンパスでは、和泉キャンパスから移転した国際日本学部、4月に開設された総合数理学部の2学部、3つの大学院研究科及び研究機関が設置され、本学の新たな教育・研究の嚆矢をなす事業が展開されています。中野キャンパスのコンセプトは、「国際化」「先端研究」「社会連携」です。「世界に開かれた大学」という理念を具現化するため、国際化をリードし、先端研究の集約によって世界的研究拠点を形成し、自治体・企業・大学との連携により、広く社会に貢献する「グローバルコモン」の実現を目指します。 ※ <http://www.meiji.ac.jp/nakano/>



(3) 「総合数理学部」開設～社会に貢献する数理科学の創造・展開・発信を目指して

2013年4月、本学10番目の学部として「総合数理学部」が新設されました。この学部は、現象数理学科、先端メディアサイエンス学科及びネットワークデザイン学科の3学科で構成されており、「社会に貢献する数理科学の創造・展開・発信」を理念に、数理科学（数学を基盤にした科学）とコンピュータ（情報技術）の融合により

従前にとらわれることのない新しいものを世の中に創造していくことができる人材を育成します。 ※ <http://www.meiji.ac.jp/ims/>

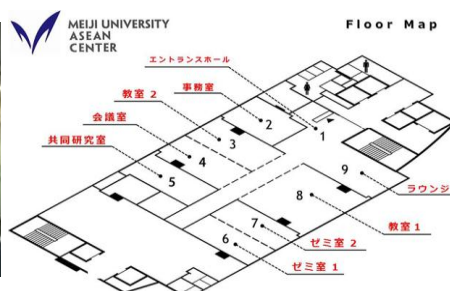
学部・学科名	入学定員	収容定員	学位
総合数理学部	260名	1,040名	—
現象数理学科	80名	320名	学士(理学)
先端メディアサイエンス学科	100名	400名	学士(理学)
ネットワークデザイン学科	80名	320名	学士(工学)

(4) タイ・バンコクに「明治大学アセアンセンター」開設～グローバル人材育成拠点

5月1日、タイ・バンコク市内にある本学協定校のシーナカリンウィロート大学内に「明治大学アセアンセンター」を開設しました。2012年度に文部科学省の「大学の世界展開力強化事業－ASEAN諸国等との大学間交流形成支援」事業に採択された「日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダープログラム」の展開拠点として、本センターを活用していきます。

8月5日には、開所式及びレセプションを開催しました。同時にアセアンセンター内で「第1回明治アセアンコンソーシアム会議」を開催し、国際共同教育コンソーシアムのメンバーであるアセアン域内の有力パートナー校代表者と、今後の学生交流・学術交流の可能性について、活発な意見交換を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/aseancenter/center/>



(5) 系列法人「国際大学」との連携～世界トップクラスのグローバルユニバーシティを目指して

2013年1月に学校法人国際大学と締結した系列法人化に関する協定書に基づき、4月1日から、同大学が本学の系列法人となりました。両法人は、相互の建学の理念を尊重の上、法人間の連携及び教育研究活動の包括的な交流と連携・協力を推進することによって、両法人の目指す「世界トップクラスのグローバルユニバーシティ」の実現に向けて、相互に事業計画及び教育研究活動の支援を行います。本学から役員の過半数を派遣するとともに、多方面で連携事業を実施しました。

※ 国際大学HP <http://www.iuj.ac.jp/index.cfm?Language=J>

(国際大学は、1982年に設立された日本初の大学院大学で、授業はすべて英語で行われています。キャンパスは新潟県南魚沼市にあり、学生の9割を留学生が占め、全寮制、完全秋入学制度などの特徴があります。2013年度英国エコノミスト誌MBAランキングに日本で唯一、世界トップ100入り(10回目のランクイン)、アジア太平洋地域では6位の座を獲得しました。)

ア 系列法人協議会の開催

両法人が合同で設置する協議会で、両法人間で行う連携・協力事業に関する事項を協議することによって、相互の交流及び発展を図ることを目的に開催しています。職員研修、地域連携、施設利用、教学プログラム、広報活動など幅広い分野について協議を行いました。

イ 図書館相互協力に関する申合せの調印式挙行

この調印により、両大学に所属する学生・教職員は、学生証または教職員証を持参すれば双方の図書館への入館・閲覧・貸出サービスを利用することができるようになりました。

ウ 共同シンポジウムの開催

本学国際総合研究所と国際大学研究所が共同で行っている研究のシンポジウム「アジアにおける安保・経済開発・人権の諸問題」を開催しました。

(6) アップトゥデートな情報発信～各種広報活動の展開

広報戦略本部を中心に、教育・研究活動及びこれに付随する諸活動に関する情報等を広く学外に発信するための広報戦略を策定するとともに、効果的な広報活動を全学的に推進しました。「明治大学広報」、広報誌「M－Style」、広報誌「明治」等の紙媒体のほか、ホームページ等各種媒体を通じた情報発信、メディア・記者に対するプレスリリース等により、「旬（しゅん）」の明治大学の情報を学外に発信しました。

ア 「Meiji.net」(メイジネット) 開設

広く社会に対し、よりわかりやすく本学の持つ役割などを発信するため、プロモーションサイト「Meiji.net」を開設しました。タブレット端末やスマートフォンからも閲覧可能なデザインを採用し、いつでもどこでも明治大学にアクセスすることができます。 ※ www.meiji.net

イ 海外向け大学ガイドブックとプロモーションサイトを作成

日本への留学を検討している世界中の学生へ向け、留学先としての日本、東京、そして明治大学の魅力を紹介する大学ガイドブックとプロモーションサイト「Study Tokyo a Guide For Meiji University Students」を、英語旅行ガイドブック世界シェア1位のLonely Planet社とともに、アジアの大学で初めて作成しました。明治大学の留学プログラム、明治大学で学ぶ現役留学生の体験談、東京の見所など、日本留学の魅力を全編英語で発信しています。

※ <http://www.lonelyplanet.com/campaigns/study-tokyo/>

(7) 卒業生とのヒューマンネットワーク

ア 第16回ホームカミングデーの開催（10月20日）

駿河台キャンパスにおいて開催し、約3,800名の校友やその家族等が来場しました。

イ 本学出身の政財界人と懇談会を開催（2014年2月26日）

ヒューマンネットワークの強化や情報交換を目的に、本学出身の国会議員や首長、各種企業の社長等、政財界で活躍されている校友を招いて、意見交換・懇談会を行いました。

ウ 明治大学校友全国高等学校長・副校長・教頭会を開催（5月29日）

明治大学出身の校長・教頭ら高校教員と、明大教職員とが、交流や情報交換を行いました。

エ ヒューマンネットワークの拡大～新たな地域支部へ会旗授与

校友会が2013年度に新たに承認した次の団体に対して会旗を授与しました。

- (ア) 羽村地域支部（東京都多摩支部所属）
- (イ) 燕三条地域支部（新潟県支部所属）
- (ウ) 軽井沢・御代田地域支部（長野県支部所属）
- (エ) 飯田地域支部（長野県支部所属）
- (オ) 福生地域支部（東京都多摩支部所属）

(8) ステークホルダーからの支援～募金活動の推進

2013年度に明治大学が受けた寄付金の総額は、約3億4,200万円でした。

※ <http://www.meiji.ac.jp/bokin/index.html>

ア 未来サポーター募金

未来サポーター募金は、奨学サポート、国際化サポート、研究サポート、スポーツサポート及びキャンパス整備サポートの5つの資金から構成される寄付者の意思を反映しやすいクラウドファンディング型の募金制度です。主な募集対象者は校友、教職員、一般篤志家の個人・団体・法人です。本年度は未来サポーター募金に対し、約2,300件、1億3,700万円の寄付を賜りました。本年度より奨学サポート資金を取り崩し奨学金の受給を開始したことを記念して、奨学金受給学生からの感謝の気持ちを文集としてまとめた「感謝のこぼし」を発行するとともに、これまでに奨学サポート資金に対して多大なるご支援をいただいた寄付者の方々と奨学金を受給した学生との交流会である「感謝の集い」を8月に開催しました。10月にはホームカミングデーの開催に合わせ、2012年度中に一定の基準額に到達した寄付者の方々と大学関係者との交流会を開催しました。また、過去3カ年の未来サポーター募金の応募状況、寄付金の使用実績等をまとめた小冊子を本年度より発行し、これまでに未来サポーター募金に対して寄付をいただいた寄付者全員に発送しました。

なお、不要な書籍やDVD等の買取査定額を奨学サポート資金として寄付ができる本棚募金に対しては、本年度は約326万円の寄付を賜りました。

イ 教育振興協力資金

教育振興協力資金は、本学の教育・研究の充実・発展に必要な経費として活用するための資金であり、主に学部生父母、付属明治高等学校・中学校の新生父母を対象に募集しています。本年度から大学院生、専門職大学院生、法科大学院生の父母にも募金の趣意書を発送しました。本年度は529件、約3,750万円の寄付を賜りました。

ウ その他寄付金

その他の寄付金として、学術研究奨励寄付金に約6,800万円、校友会奨学金に4,500万円、寄付講座に約2,200万円など、約1億6,700万円の寄付を賜りました。

(9) 教育の情報化推進及び情報環境整備

ア 多様な教育・学習活動の支援

全学生・教職員向けのポータルシステム／授業支援システム「Oh-olMeiji システム」は、すべての人にとって使い勝手の良いシステム、さらには多様な教育・学習スタイルを包括的に支援する授業支援システムを目指して、全面的にフルリニューアルしました。オープンソースソフトウェアを活用して再構築したことにより、画面デザインや操作性の向上、ポータル機能強化、スマートフォンやタブレットへの対応、日本語／英語の切り替え対応など、大幅な改善がはかられました。

イ eプレゼン・コンテストの開催

このコンテストは、大学生活の出来事や学んだことを、動画や音楽、写真などを使いながら、プレゼンテーションとして構築したコンテンツを作品として競い合うもので、学生の実社会に必要な力を向上させることなどを目的として開催されています。2013年度で3回目となるコンテストでは、上位入賞者が韓国研修に派遣され、嶺南大学校、韓東大学校、文化学園大学（韓国）の学生と合同で国際学生交流ワークショップを実施しました。

(10) 社会に有用な人材の育成～国家試験対策の指導強化・充実

本学では国家試験指導センター（法制研究所・経理研究所・行政研究所）を設置して資格取得及び職業能力の向上を志す本学学生及び卒業生を支援し、社会に有用な人材を育成しています。

2013年度の各試験の合格者数は、司法試験65名、国家公務員総合職試験16名、公認会計士試験76名（経理研究所調査）でした。

(11) 学校法人の管理・運営

ア 学校法人明治大学寄附行為の改正

理事定数・評議員定数の見直し及び2014年度からグローバル・ガバナンス研究科を設置することにもない、寄附行為の当該条項の改正を行いました。

イ 事務組織の改編

教学企画部グローバルCOE推進事務室を廃止するとともに、教学企画部評価情報事務室を設置しました。

ウ 財政検討委員会～財政健全化へ向けて

この委員会は、理事会の諮問に基づき、財政健全化に向けた本学の財務戦略に関する基本方針を策定するために設置されました。詳細な財務分析を中心に、今後の施設整備計画・修繕計画やスチューデントレシオ等の各種課題の他、幅広い内容について法人側と教学側がそれぞれの立場から課題を確認し、意見交換を行った結果、9月に理事会へ答申書（第一次）を提出しました。現在は、この答申内容に基づく財政的な基本方針・見通しを踏まえ、中期計画策定委員会において中期計画の策定を進めています。

2 災害への対応・復興支援

(1) 震災復興支援センターの活動

本学では2013年度も東日本大震災における被災地及び被災者の復興を支援するために、震災復興支援センターを中心として様々な復興支援を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/gakucho/reconstruction/index.html>

ア 浦安ボランティア活動拠点における活動

被災地の物産販売，講演会・報告会の開催，市内小中学生への教育支援等を実施しました。

イ 東北再生支援プラットフォームにおける活動

大船渡市，気仙沼市，新地町とは復興支援に関する協定を締結しており，被災地の子供たちへの学習支援，学部間共通総合講座「東日本大震災『復興支援』ボランティア講座」の実習などの各種共同事業を実施しました。

ウ 震災復興支援活動報告会

この報告会は，震災復興に携わっている学内の学生団体が活動報告を行うことによって，本学の震災復興支援活動を「見える化」し，お互いに連携して今後の活動を考える機会とすることを目的に企画され，本学の学生の他，他大学生・高校生・一般の方が参加し，実施されました。

(2) 「その時」に備えるために～防災・危機管理体制の確立

大規模災害の発生等を想定し，学生用・教員用・職員用といったカテゴリーごとの災害発生時対応マニュアルに基づき，駿河台・和泉・生田の各キャンパスにおいて防災訓練を実施しました。

2013年度から使用を開始した駿河台キャンパスグローバルフロントでは，「大地震発生時の避難マニュアル」に基づき，大地震発生時の初動に重点を置いた訓練を実施しました。地震発生を知らせる館内放送は，多くの外国人留学生が学ぶ学内に向けて英語と日本語でアナウンスされました。

3 学部・大学院の整備等

(1) 学部入学定員及び収容定員の変更

2013年度から，法学部，商学部，政治経済学部，情報コミュニケーション学部及び国際日本学部の入学定員及び収容定員を次のとおり変更しました。（2015年度までの収容定員は経過措置を定める。）

	入学定員		収容定員	
法学部	900名	→ 800名	3,600名	→ 3,200名
法律学科	900名	→ 800名	3,600名	→ 3,200名
商学部	1,020名	→ 1,000名	4,080名	→ 4,000名
商学科	1,020名	→ 1,000名	4,080名	→ 4,000名
政治経済学部	1,030名	→ 1,000名	4,120名	→ 4,000名
政治学科	260名	→ 250名	1,040名	→ 1,000名
経済学科	620名	→ 610名	2,480名	→ 2,440名
地域行政学科	150名	→ 140名	600名	→ 560名
情報コミュニケーション学部	400名	→ 450名	1,600名	→ 1,800名
情報コミュニケーション学科	400名	→ 450名	1,600名	→ 1,800名
国際日本学部	300名	→ 350名	1,200名	→ 1,400名
国際日本学科	300名	→ 350名	1,200名	→ 1,400名

(2) 学部・大学院教育の進展整備

学部・大学院の設置以降、完成年度まで引き続き教育環境の整備を行いました。

ア 大学院先端数理科学研究科現象数理学専攻博士後期課程（完成年度：2013年度）

イ 大学院国際日本学研究科国際日本学専攻修士課程（完成年度：2013年度）

ウ 総合数理学部現象数理学科，先端メディアサイエンス学科，ネットワークデザイン学科（完成年度：2016年度）

(3) 学部・大学院の開設準備

開設に向けて必要な準備を行いました。

ア 大学院グローバル・ガバナンス研究科博士後期課程（2014年4月開設）

入学定員5名，収容定員15名

この研究科は「世界がいま必要とする人材」の養成を目指しており、「公共政策」「国際開発政策」「地球マネジメント」の3つの専門分野から成り立っています。カリキュラムはすべて英語で実施します。

イ スポーツ科学部（仮称）

(4) 大学院研究科の課程変更

2014年度施行に向けて、必要な準備を行いました。

（大学院国際日本学研究科国際日本学専攻修士課程から博士課程への変更）

4 教育研究環境の整備

明治大学のより一層の発展に寄与するため、教育研究環境の整備を行いました。

(1) 知の最前線～グローバルフロント（GLOBAL FRONT）

「世界に発信する最先端の研究拠点と陶冶の場」をコンセプトとして駿河台キャンパス（C地区）に竣工した「グローバルフロント」の利用が、2013年4月に開始されました。ここには、人文・社会系の大学院，研究・知財戦略機構，国際連携機構の諸施設，国際会議にも対応した「グローバルホール」，国際交流ラウンジなどが配置されており，他大学，自治体，企業等とも連携しつつ多様な分野で国際的な研究を推進し，世界的水準の研究拠点を形成していきます。



(2) 駿河台キャンパス改修計画

駿河台キャンパスC地区整備計画にともなう跡地改修工事の実施が承認されました。これは、既存の施設から諸機関がグローバルフロントに移転したことにより，リバティタワー，アカデミーコモン及び研究棟に空きスペースが発生したため，その跡地の有効利用を目的とした改修工事を実施するもので，2014年度から段階的に実施していきます。

(3) 生田キャンパスにおける教育研究環境の充実

生田キャンパスにおいて，農学部の新教育・研究棟となる第一校舎6号館の新築工事を行い，2014年4月に竣工しました。

(4) アクティブ・ラーニング教室の整備

2012年度に文部科学省「私立大学教育研究活性化設備整備事業（事業名称：アクティブ・ラーニングの活用による国際協力人材の育成）」に採択されたことによ

い、駿河台キャンパス12号館の1教室をアクティブ・ラーニング教育等で用いる「New Education Laboratory」に改修し、4月から利用を開始しました。iPadで操作できるテレビ会議システム、可動式の机・椅子、壁一面のホワイトボード加工など、学生の能動的な学習を促進する仕組みを兼ね備えた教室となっています。



5 教育研究活動

(1) 教学運営体制の整備

学長の下に総合政策、教務（教務部長兼務）、学務（学生部長兼務）、研究、社会連携、国際交流、広報（学長室専門員長兼務）を担当する7名の副学長を配置し、これら副学長と学長室専門員が連携・協力することによって、多岐にわたる教学関連の諸課題に取り組みました。

(2) 教育関連活動

ア GP「卓越した大学院拠点形成支援補助金」採択

この補助金は、優れた研究基盤を活かし高度な教育と研究を融合する卓越した拠点を有する大学に対し、博士課程の学生が学修研究に専念できる環境を整備するために必要な経費を支援し、もって、優秀な学生を惹きつけ、世界で活躍する優れた研究者を輩出する環境づくりを推進することを目的とした事業で、本学の大学院先端数理科学研究科現象数理学専攻が採択されました。

イ 初の修了生8名誕生・ダブルマスタープログラム

本学大学院経営学研究科とマレーシア工科大学ラザック・スクール・オブ・エンジニアリング・アンド・アドバンスド・テクノロジー（UTM Razak School）が、2010年度から共同で実施しているダブルマスタープログラムから、初の修了生が誕生しました。履修生は日本とマレーシア両国に滞在して研究を進めた結果、本学経営学研究科から経営学、UTM Razak School から経営管理工学の2つの修士学位が授与されました。

ウ 聖マリアンナ医科大学と大学間交流に関する包括協定締結

明治大学と聖マリアンナ医科大学（神奈川県川崎市）は7月3日、教育・研究活動の交流と連携の推進を目的とした大学間交流に関する包括協定を締結しました。

エ 経営学部創立60周年記念式典・記念行事開催

日本の私立大学初の経営学部として発足した本学経営学部は、2013年に創設60周年を迎えたことを記念して、国際シンポジウムや記念講演、学部生による成果発表会、経営者フォーラムなど多彩な行事を実施し、学部のこれまでの歩みを振り返るとともに、世界への飛躍に向けた新たな門出を祝しました。

オ 税理士試験に2名が現役合格

商学部4年生の2名が税理士試験の合格を果たしました。2013年度の最終合格者905名のうち、大学在学中の合格者は全国でわずか3名にもかかわらず、そのうち2名が明大生でした。

カ 教職員合同で初年次リテラシー教育研修会

図書館と教育開発・支援センターは、教員と事務職員の双方を対象とした合同型の初年次リテラシー教育研修会を開催し、学部で初年次教育を担当する教員によるリテラシー教育の実践例や図書館が提供するリテラシー教育プログラムの紹介及び質疑応答などを通じて教職員相互に情報交換を行いました。

(3) 研究関連活動

学長を機構長とする研究・知財戦略機構（以下「機構」という。）は、本学における研究活動を統括し、世界のトップユニバーシティを目指し、世界的水準の研究を推進するため、その重点領域を定めて研究拠点の育成を図り、研究の国際化を推進するとともに、その成果を広く社会に還元することを目的としています。2013年度においても機構の下に設置されている研究政策の企画・立案から実施を担う研究企画推進本部及び産官学連携活動を推進する研究活用知財本部を両翼とし、さらに附属研究機関・附属研究施設等において研究活動を推進してきました。各研究機関等における2013年度の主な研究活動は次のとおりです。

※ <http://www.meiji.ac.jp/research/promote/present.html>

ア 競争的研究資金の獲得

獲得した主な学外の競争的研究資金は次のとおりです。その他、学内の競争的研究資金として、研究所研究費、大学院研究科共同研究、新領域創成型研究・若手研究等があり、研究活動の推進・活性化を図っています。

(ア) 文部科学省2013年度「科学研究費助成事業」

本学の採択件数は新規と継続分を合わせ301件（前年度279件）で、補助金交付総額は約7億6,200万円（前年度約5億2,700万円）で過去最高を記録しました。

(イ) 文部科学省2013年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」

この事業は、私立大学の経営戦略に基づいて行われる研究基盤の形成を支援する事業です。本学からは4件、3億6700万円が採択されました。

イ 世界に向けた研究発信

(ア) 国による初の本格調査・ガスハイドレート研究所が受託実施

ガスハイドレート研究所は、6月から10月にかけて、国の委託を受け日本海上越沖及び能登半島西方沖にて、表層型メタンハイドレート調査航海を実施しました。その結果、両海域での表層型メタンハイドレートの資源量は想定されているよりも多いとの見方を示しました。本調査は、次世代エネルギー源の可能性があると大きな注目を集めています。

※ <http://www.kisc.meiji.ac.jp/~hydrate/>

(イ) 医学研究用ブタを効率的に作出する技術を確立・バイオリソース研究国際インスティテュート

同インスティテュート代表の長嶋農学部教授、渡邊特任講師らのグループは、

短期間（6カ月）で免疫不全ブタを育成することに成功しました。科学技術振興機構のホームページと米国の科学誌「PLOS ONE」を通じて、世界同時発表を行いました。この成果により、新薬開発における安全性、幹細胞治療法やがん治療法の評価・開発、ブタ体内でヒトの血液や臓器をつくる研究が飛躍的に加速します。

(ウ) 「ひざ軟骨再生医療」一般化への道拓く・バイオリソース研究国際インスティテュート

バイオリソース研究国際インスティテュートは、「ひざ軟骨再生医療」の一般化に欠かすことのできない細胞シートを必要な時にすぐに使えるよう常にストックしておく保存法「新規ガラス化凍結法」の開発に成功しました。ひざ痛に苦しむ人は日本で約2500万人とも言われている中、ひざ軟骨を再生させる医療、根本治療を目指すという、治療の一般化に向けての大きな前進となりました。

ウ 産官学連携

(ア) 明大の特許「サンゴ砂礫農法」利用 新地町に高糖度トマト栽培の植物工場

農学部の中林准教授が発明した「サンゴ砂礫農法」を活用した高糖度トマトを大規模に栽培する植物工場が、福島県新地町に完成しました。これは、復興庁と経済産業省による中小企業経営支援等対策費補助金「先端農業産業化システム実証事業」に採択されたことにもなうものです。植物工場には、明治大学研究活用知財本部を通じて栽培技術が提供され、清水建設、ヨークベニマル、栽培を担う新地町の農業法人アグリグリーンとの協力のもとプロジェクトに取り組んでいます。「スイートマシェリ」と名付けられたトマトは、2月26日、初出荷されました。

(イ) 研究成果活用促進センター～明大研究者・入居企業が共同開発

様々な角度から中小企業の経営をサポートしている「地域産学連携研究センター」では、研究の成果が実を結び始めています。同センターに入居するベンチャー企業「ルートレック・ネットワークス」は、小沢特任教授（黒川農場）との共同研究で、情報通信技術（ICT）による農業支援システム「Z e R o . a g r i」の開発に成功し、5月末に製品化に至り、秋には群馬県と岩手県の中規模農家へ納品しました。

(ウ) 新宿タカシマヤに「植物工場」

明治大学植物工場基盤技術研究センターとNTTファシリティーズが行っている共同研究の成果を広く社会へ発表する活動の一環として、新宿タカシマヤイベントスペースに「植物工場サイエンスギャラリー」を開設しました。

(エ) 研究・知財戦略機構 川崎信用金庫と産学連携協定を締結

この協定は、地域の中小企業の技術支援などを目的とした産学連携協定であり、川崎信用金庫が大学と連携協定を、また、明治大学が金融機関と連携協定を締結することは、ともに初めてのこととなりました。今後、明治大学の研究と中小企業ニーズのマッチング、中小企業の技術相談などの分野で協力を進めていきます。

エ 数理科学の国際拠点～先端数理科学インスティテュート（MIMS）

MIMSは、機構附属研究機関（特別推進研究インスティテュート）として設立され、社会との関わりを重視した数理科学の発展・普及を図ることを目的に社会と自然に係る現象の数理科学的解析を課題とする国際的研究拠点です。2013年度からは中野キャンパスに移転し、更なる研究活動を推進しました。

※ <http://www.mims.meiji.ac.jp/>

オ クローンブタで医療に貢献～バイオリソース研究国際インスティテュート（MUIIBR）

MUIIBRは、機構附属研究機関（特別推進研究インスティテュート）として設立され、農学、特に Animal Biotechnology を基盤に、次世代の医療技術開発に貢献する生物資源の創出・維持・活用を行うことを目的とした国際的研究拠点です。上述した免疫不全ブタの創出など各種メディアでも研究成果が掲載・紹介されました。

※ <http://muiibr.com/>

カ 世界が持続可能な成長をしていくために～国際総合研究所（MIGA）

MIGAは、機構附属研究機関（特別推進研究インスティテュート）として設立され、国際的な諸問題を研究課題に据え、その解決策を探求及び立案することにより、国際社会に対して政策を提言していく国際的研究拠点です。上述した国際大学と共同シンポジウムの開催の他、コラムの発行、ランチタイムセミナーの開催など、精力的に活動を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/miga/index.html>

キ 新たな世界的研究拠点の創出を目指して～研究クラスター

研究クラスターは、機構附属研究機関（特別推進研究インスティテュート）等を目指し、今後の発展が期待されるものとして選定された重点領域プロジェクトを推進する期限付きの研究組織です。2013年度においては次の研究クラスターがそれぞれ研究活動を推進しました。

(ア) 知的財産法の研究拠点形成を目指す～知的財産法政策研究室

(イ) 日本列島の文明化を究明する日本古代学の国際的構築～日本古代学研究所

(ウ) 大きな原理の探求そして現代社会の抱える問題への提言～野生の科学研究所

ク 黒曜石研究の国際ネットワークの拠点を目指して～黒曜石研究センター

日本で唯一の黒曜石と人類史に関する研究施設黒曜石研究センター（長野県小県郡長和町）は、機構の附属研究施設として「ヒトー資源環境系」という概念の下に、各種研究プロジェクトを立ち上げ、黒曜石を含む多様な資源に対する人類の働きかけのダイナミズムに関する研究を推進しています。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cols/index.html>

ケ 食料の安定的供給と農業の産業化の実現を目指して～植物工場基盤技術研究センター

本センターは、経済産業省平成21年度先進的植物工場施設設備費補助金事業の補助金を受けて建てられたもので、植物工場に関する研究開発・人材育成の全国8拠点の一つです。（私立大学では本学のみ。）

2013年度は、文部科学省が募集する「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に、本センターの「農商工連携モデルを基盤とした都市地域における完全人工光型植物工場研究拠点の形成」の研究プロジェクトが採択されました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/plant/index.html>

コ 神奈川県における新技術・新事業の創出に向けて～地域産学連携研究センター

本センターは、本学が有する技術シーズ・知的資産を有効活用し、川崎市をはじめとする神奈川県における新技術・新事業の創出、地域中小企業を育成する産学連携促進事業の実施、起業・経営セミナー等の開催、地域中小企業者・住民への施設の貸出し等の地域連携交流を促進することを目的としています。

2013年度も各種セミナーを行うとともに施設利活用促進のためにセンター施設見学会等を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cii/index.html>

サ 革新的イノベーション創出プログラムCOI-T拠点に採択

本学総合数理学部先端メディアサイエンス学科を中心とする研究グループの「感性に基づく個別化循環型社会の創造」が、文部科学省と科学技術振興機構が主催する大型産学連携事業「革新的イノベーション創出プログラム(COI)」の将来の拠点候補となるCOI-T(トライアル)として採択されました。COIは、10年度を見通した革新的な研究開発課題について、既存の分野や大学だけでは実現できないイノベーションを産学連携で実現することを目指す国の大型プログラムで、本学研究グループは、複数の大学や企業と連携しながら研究開発を進めると同時に、2年後のCOI本採択に向けてコンセプトや要素技術の検証を行います。

(4) 明治大学の歴史を語る～大学史資料センター

大学史資料センターは、本学の歴史(校史)に関する調査、研究並びに校史に係る資料の収集、保存及び公開を行っているほか、作詞家・作家の阿久悠氏(1959年文学部卒)の「人となり」及び作品を紹介する阿久悠記念館の運営も行っています。

2013年度は、専修大学、中央大学、日本大学及び本学の4大学合同で、明治期の神田学生街と法典論争を取り上げた企画展「近代日本の幕開けと私立法律学校」を、本学博物館特別展示室において開催するなど、各種企画展を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/history/index.html>

6 認証評価制度への対応、自己点検・評価の実施

(1) 認証評価

本学は、2014年度に公益財団法人大学基準協会による2回目の大学評価を受審するため、2014年1月に「自己点検・評価報告書」草案を提出し、3月には正式に申請を行いました。

その認証評価に適切に対応するためにも、4月には「教学企画部評価情報事務室」を設置し、認証評価に関するもののほか、自己点検・評価、内部質保証システムの運用、教育情報の収集・分析(IR)等の業務に専念する事務組織体制を構築しました。

(2) 自己点検・評価

2012年度自己点検・評価報告書については、自己点検・評価全学委員会委員長である学長が2014年1月16日に「2012年度自己点検・評価報告書」を評価

委員会委員長の理事長に提出しました。

同報告書の提出を受けて、2014年1月29日に学外有識者等も加わる評価委員会を開催し、自己点検・評価が適切に行われているか点検するとともに、報告書で示された長所や改善すべき事項を基に、今後本学が重点的に改善・改革すべき点を議論し、本学がトップスクールとして世界に貢献していくための多くの提言を行いました。その結果は「評価委員会による評価結果」として、報告書と同時にホームページに公開しています。

※ <http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/index.html>

7 国際化の推進

本学は、文部科学省のグローバル30（大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業）に採択された全国13大学の一つとして、国際化の取組みを積極的に推進しており、2013年度も次の事業等を推進しました。

(1) 海外拠点の拡充

本学では、国際連携を積極的に推進するため、海外拠点としてマレーシア事務所、北京事務所及び明治大学アセアンセンター（タイ・バンコク）を設けています。

5月に開設した「明治大学アセアンセンター」は、2012年度に文部科学省の「大学の世界展開力強化事業－ASEAN諸国等との大学間交流形成支援」事業に採択された「日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダープログラム」の展開拠点として活用されているほか、2013年度はワークショップ、遠隔授業、学部短期プログラムなどを実施しました。

(2) 国際連携機構の充実

国際連携本部、国際教育センター、日本語教育センターからなる国際連携機構は、本学における国際化政策を一元的に推進していく機関であり、国際的な教育交流及び学術・研究交流を推進し、教育・研究分野の高度化を図るとともに、教育・研究を通じて広く国際貢献を果たすことを目的として設置されています。

本機構は、2011年度、2012年度の規定改正により、組織内の情報共有の強化及び学内連携の一層の強化が図られました。また、国際連携運営会議を一層活用することにより、教務部との連携はもとより、学部・研究科との情報共有を進め、国際連携戦略を体系的に推進しました。

(3) 文部科学省による大学教育改革の支援プログラム

文部科学省が公募した「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」のプログラムに採択された3件の取組みについて、引き続き2013年度も事業を展開しました。

ア 大学間連携共同教育推進事業（明治大学・立教大学・国際大学による共同申請）

（「国際協力人材」育成プログラム） ※ <http://www.hric.jp/>

イ 大学の世界展開力強化事業－ASEAN諸国等との大学間交流形成支援（日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダープログラム）

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/aseancenter/>

ウ グローバル人材育成推進事業（タイプB：特色型）（政治経済学部留学促進プログラム） ※ <http://meiji-seikei-ghrd.com/>

(4) 協定校・協定機関の拡充

海外の大学等との協力協定については、2013年度も積極的に新たな協定を締結し、2013年度までの協定校・協定機関数は、学部間等協定も含め、40カ国・地域、234大学・機関・部局等となりました。

(5) 外国人留学生の受け入れ・学生の海外留学

2013年度、本学は1,162名（学部：835名，大学院327名）の外国人留学生を受け入れるとともに、本学からの送り出し海外留学生数は1,007名（長期：162名，短期：845名）となりました。

(6) 外国人留学生等交流イベント

ア 「日本文化体験」の実施

国際教育センターでは外国人留学生を対象とした日本文化体験を実施しており、2013年度も「座禅会」、「茶道体験」、「生け花ワークショップ体験」等留学生のための様々なイベントを実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/support/event/index.html>

イ Cool Japan Summer Program の実施

国際連携機構は、海外在住の留学生を対象に、日本文化の多様な側面と魅力を伝える短期集中講座「Cool Japan Summer Program」を開講しました。今年で4回目となる同講座では、世界8カ国から学生21名が参加し、漫画、アニメ、ゲームといったポップカルチャーを中心とした「現代文化」や、歴史を通し継承されている「伝統文化」等について、教室内での講義に加えてワークショップやフィールドトリップなど現場体験型のプログラムも実施されました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/cooljapan/index.html>

ウ 日本語短期研修プログラム（夏期・冬期）の実施

明治大学日本語教育センターは、夏と冬の2回にわたって「日本語短期研修プログラム」を開催しました。本プログラムは、①日本語授業、②見学・体験、③小旅行で構成され、本学の日本人学生がサポーターとして参加者を全面的にバックアップし、「活きた日本語」を使いながら交流を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/mjlp/index.html>

エ Meiji University Law in Japan Program の実施

法学部は、日本の法と法制度を英語で学ぶ夏期短期プログラム「Meiji University Law in Japan Program」を開催し、計14カ国から学生・社会人が25名、さらに本学法学部生5名が加わり、30名で2週間集中的に日本の法を学びました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/law/index.html>

(7) 「日本ASEAN相互理解プログラム科目」新設

国際連携機構は2013年度、「日本ASEAN相互理解プログラム科目」を新設しました。この科目では「東南アジア文化・専門集中講座」として、ベトナムのホーチミン市国家大学人文社会科学大学と、フィリピンのアテネオ・デ・マニラ大学で約4週間の短期研修を実施し、現地で東南アジア地域の政治経済、社会、文化について学ぶとともに、英語での受講を通じて実践的な英語能力を養いました。

(8) 実践的英語力強化プログラム（カランメソッド・オンライン型）の実施

カランメソッドとは、「英語脳」を育むべく徹底して訓練する英会話学習法で、

Sky pe を活用し、海外にいる専門指導講師からオンラインで遠隔指導を受講します。2013年度は、全20回（週3回×7週）のレッスンを、夏期及び後期にそれぞれ学部生約100名が受講しました。

8 社会連携

(1) 社会貢献を進めるために～社会連携機構

本学における教育研究活動を通じた地域連携活動の支援、生涯学習機会の提供等を推進することによって、地域社会の活性化及び社会の発展に寄与することを目的として設置されている機関が社会連携機構です。社会連携機構は、生涯教育の充実を図るリバティアカデミー及び地域連携を推進する地域連携推進センターから構成されています。

ア 生涯学習の拠点～リバティアカデミーの展開

リバティアカデミーは、公開講座を中心とした生涯教育及び資格取得等職業能力の再開発・向上を図るための教育活動の役割を担っています。2013年度もリバティアカデミーは、「本学の教育・研究成果」を継続的・体系的な公開教育プログラムとして産業社会や地域社会に提供し、大学の保有する様々な知的資産とその環境を広く市民に開放することを通して「開かれた大学」としての姿を追求してきました。2013年度は、中野キャンパス及び生田キャンパスにおいても教育活動の展開を開始しました。公開講座は、教養・文化、ビジネス、資格・実務、語学、特別企画等、開講した講座数は406講座、受講者数は21,327名となりました。

※ <https://academy.meiji.jp/>

イ 地域連携推進センターの展開

地域連携推進センターは、本学が国・地方公共団体、産業界、地域住民等からの幅広い要請に応え、地域社会と連携して地域人材の育成や地域課題の解決を図ることにより、本学における教育研究の発展と地域社会への貢献に寄与することを目的としています。2013年度も、創立者出身地やキャンパスが設置されている自治体をはじめ、様々な自治体等と連携して公開講座を開催するなど、地域活性化のための連携事業を展開しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/social/japan/chiikirenkei.html>

ウ 学生参加の社会連携活動

(ア) 創立者出身地への学生派遣プログラムの実施

社会連携機構は、創立者出身地3地域（鳥取県、山形県天童市、福井県鯖江市）で、地域の人々と交流・連携しながら地域活性化への提言を行う課題解決型学生派遣プログラムを昨年度に引き続き実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/social/6t5h7p00000fafok.html>

(イ) 秋の恒例行事～第7回お茶の水JAZZ祭の開催

このJAZZ祭は、本学と千代田区との連携事業の一つで、本学校友の宇崎竜童氏と本学学生等で組織される「明大町づくり道場」の学生約50名による「音楽を通じた町おこし活動」の柱となっています。今年も駿河台キャンパス・アカデミーホールで1,000人を超える観客を迎え開催されました。 ※ <http://www.jazzsai.com/>

エ 徳島大学・徳島県と包括協定締結

この協定は、明治大学・徳島大学・徳島県の三者が、それぞれの持つ教育資源や知的財産などを活用した連携事業を実施し、地域社会や人材育成に貢献することを目的として、11月に締結されました。他大学・自治体を含む包括協定は、鳥取大学・鳥取県との協定に続いて2例目で、今後は教職員・学生の交流、共同教育・研究プロジェクト、地域活性化事業などの分野で連携・協力を進めます。



オ 中野区と相互協力協定締結

2014年3月に、中野キャンパスのある中野区と相互協力に関する基本協定を締結しました。両者は今後、中野区の地域活性化や、人材育成、教育・学術・文化振興、産業育成支援などの分野で相互協力を進めます。

(2) 教育・研究の中核機関～図書館

ア 4キャンパスの図書館

図書館は、大学の教育・研究支援の中核機関であるとともに、生涯学習時代における社会貢献の拠点として活動を行っています。

駿河台キャンパス中央図書館は5月15日に、2001年3月開館以来の延べ来館者数が1100万人を突破しました。さらに、昨年5月に開館した和泉図書館の来館者数が5月27日には、開館1年1か月という驚異的なスピードで延べ100万人に達しました。 ※ <http://www.lib.meiji.ac.jp/>

イ マンガ図書館

マンガ図書館は、マンガ、アニメ等の資料を収集し、これを公開することを目的として設置し、米沢嘉博記念図書館（東京都千代田区猿楽町）及び現代マンガ図書館（東京都新宿区鶴巻町）をもって構成されています。2013年度も企画展、トークイベントなどを開催しました。

※ http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/index.html

(3) 観て学ぼう～博物館・資料館

ア 博物館

博物館は、本学の教育・研究成果を社会に還元する学内共同利用機関として、学内外の諸機関等と連携した展覧会、公開講座等多彩な教育・普及活動を展開しており、年間来館者は7万人を超えています。2013年度は、特別展「天平の華 東大寺と国分寺」（10月19日～12月12日）のほか、展覧会「SFと未来像」、「譜代大名内藤家文書の素顔」等を開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/museum/index.html>

イ 平和教育登戸研究所資料館

登戸研究所の研究施設であった建物の保存・活用を目的として設立された「平和教育登戸研究所資料館」は、登戸研究所という太平洋戦争に組した機関の行ったことがらを記録にとどめるとともに、本学における歴史教育・平和教育・科学教育の発信地をなし、平和に関する啓発と教育の推進を行い、12月には入館者が3万人を超えました。2013年度も企画展、イベント、見学会等を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/noborito/index.html>

ウ 阿久悠記念館

阿久悠記念館では、2013年度に来場者3万人を超えたことを記念したトークイベント「“甲子園の詩”を語る－阿久悠の紡いだあの名勝負－」を開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/akuyou/index.html>

(4) 心の健康をケアします～心理臨床センター

心理臨床センターは、臨床心理学的諸問題に関わる相談・援助活動及び調査・研究を行うことにより、社会貢献を図るとともに、実習機関として臨床心理士の養成を行い、本学の教育・研究に資することを目的として設置されています。

一般の方への心の健康に関する悩みや相談を広く受ける機関として、また、学校教員のサポートのほか、保育、家庭教育等についてのコンサルテーションも引き受けています。その他、2013年度も即興劇的手法を用いた集団心理療法であるサイコドラマスクール(MPS)等を開講しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/ccp/index.html>

(5) 環境保全への取組みと環境教育

大学は、教育研究機関の社会的使命として、環境問題に対して常に高い関心を持ち、知的、道徳的及び実践的能力を備えた問題解決能力のある人材を育成、輩出することにより、環境改善の啓発活動を積極的に展開し、かつ自らも環境保全活動を実践し、社会において指導的な役割を果たしていかなければなりません。

2013年度も、環境保全に関わる教育活動の一環として、「ECO ACT MEIJI 明治大学環境展」を4キャンパスで開催したほか、駿河台キャンパスでは学内エコツアー(リバティタワー内の環境配慮施設見学会)等も実施しました。

9 入学試験関連

(1) 2014年度入学試験志願状況

一般入学試験の志願者数は、一般選抜入学試験が57,162人、全学部統一入学試験が16,746人及び大学入学センター試験利用入学試験が31,604人の合計105,512人となり、8年連続で一般入試志願者数が10万人を超えました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/index.html>

(2) イベント関係等

ア 過去最高を更新・約5万9千人が本学を体感～オープンキャンパスの開催

受験生等に向けてキャンパスを開放し、大学生活の一端を体験してもらう「オープンキャンパス」を8月、駿河台・生田の両キャンパスを中心に開催し、約6日間で延べ5万9千人の中高生やその保護者らが明治大学を訪れました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/event/opencampus/index.html>

イ 出張オープンキャンパス～明治大学フェスタ!の開催

2013年度も全国6都市（札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡）において、出張オープンキャンパス「明治大学フェスタ！」を開催し、入試説明会のほか、地元出身の現役明大生による相談等を行い、本学の魅力を伝えました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/event/festa/index.html>

ウ 「志願したい大学」5年連続1位に

リクルート進学総研が7月24日に発表した「高校生に聞いた大学ブランドランキング」で、明治大学が関東エリアの「志願したい大学」で5年連続1位を獲得しました。さらに今回は男女別・文理別の集計すべてで1位を独占しました。

1.0 卒業・修了の状況

本学は、130年を超える歴史と伝統の中で、創立以来52万人を超える卒業生を輩出してきました。

2013年度は、各学部の卒業生7,130名（うち9月卒業190名）、大学院の修了生は博士前期課程670名（うち9月卒業5名）、博士後期課程49名（うち9月卒業1名）、専門職学位課程290名（うち9月卒業27名）、附属高等学校・中学校の卒業生418名（高等学校255名、中学校163名）となっています。

1.1 学生支援

(1) 奨学金の充実

2013年度から、未来サポーター募金の奨学サポート資金を原資とする「未来サポーター給費奨学金」の運用を開始しました。これは経済支援型の奨学金で、授業料2分の1相当額を給付する制度です。第一期生には70名が採用されました。

その他、学生への支援拡充を目的として、関係校規の制定・改正を行いました。

(2) M-N a v i プログラム (Meiji Navigation Program) の推進

学生サービスのより一層の充実と社会人基礎力を育成するために実施しているM-N a v i プログラムは、参加・体験型のプログラムとして文部科学省の学生支援GPにも採択されていました。

2013年度は、「新入生M-N a v i 合宿」、「神宮へ行こう（東京六大学野球観戦）」、「神田祭り～神輿を担ごう～」、「観劇プログラム」、「座禅と写経」、「農業体験」、「おいしいお酒のたしなみ方」等のプログラムを実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/campus/mnp/2013.html>

(3) 社会に有用な人材になるために～ボランティアセンター（VC）

4キャンパスに設置されているボランティアセンターは、本学の学生に対するボランティア活動の支援を全学的に推進することにより、学生の社会性及び自主性を涵養して、社会に有用な人材を育成することを目的としています。

2013年度も各種ボランティアを実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/campus/volunteer/index.html>

ア 災害対応シュミレーション講習（駿河台VC）

イ バリアフリー映画祭（和泉VC）

ウ 「今年も、飯館村の皆さんに までいな手仕事、習いに行こう」（福島県飯館村の仮設住宅での布わらじ作り）（生田VC）

(4) 学生相談室の活動

学生相談室への相談内容は、全体の約7割が心理相談であり、社会情勢の変化を反映して相談内容も多様化・複雑化していることから、学生相談機能の拡充を図っています。2013年度には中野キャンパスにも開室しました。

2013年度も各種イベントを実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/soudan/gyouji2013.html>

ア 五月病対策講座

イ コミュニケーションのための身だしなみ講座

ウ ラフターヨガ(=笑いヨガ)体験

(5) 観る人に感動を～スポーツ関係

ア 東京六大学野球38年ぶり連覇

体育会硬式野球部は東京六大学野球で春季・秋季リーグとも優勝し、1975年以来38年ぶりの春秋連覇を達成しました。



イ ソチ五輪、コーチ・監督として校友も活躍

2014年2月に開催された冬季五輪ソチ大会において、日本選手団の総監督として日本スケート連盟フィギュア委員長も務める伊東秀仁氏(1984年政経卒・体育会スケート部フィギュアスケート部門監督)、スキージャンプの監督として成田収平氏(1987年政経卒・体育会スキー部監督)、スキージャンプのコーチとして横川朝治氏(1989年政経卒・体育会スキー部コーチ)の3名が参加し、日本勢の活躍に大きく貢献しました。

(6) 就職・キャリア形成をバックアップ～就職キャリア支援センター

就職キャリア支援センターは、本学の学生に対する就職支援及びキャリア形成支援を推進することにより、学生の職業観及び職業に関する知識・技能を涵養して主体的に進路を選択できる能力の育成を図り、社会に有用な人材を輩出することを目的としています。

2013年度も就職・進路ガイダンス、エントリーシート対策講座、就職活動体験報告会、各種業界研究会等を開催しました。また、外国人留学生の就職を支援するため、外国人留学生を対象とした就職・進路ガイダンスや筆記試験対策講座などを開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/index.html>

ア 「企業と大学との就職懇談会」の開催

駿河台キャンパスのアカデミーコモンにおいて、理事長、学長をはじめとする大学役員・役職者、各学部・大学院の就職担当教員が企業の採用担当者と情報交換を行う「企業と大学との就職懇談会」を開催しました。本学学生の就職と企業の採用

活動に役立てるため、本学側から教育内容や就職支援の現状について、企業側からは採用状況や採用意欲などの情報を交換することで互いの連携を深めました。

イ 4大学合同企業説明会を開催

中央大学・法政大学・日本女子大学と本学の4大学は、合同で企業説明会を開催しました。各大学において4回実施されますが、本学駿河台キャンパスアカデミーコモンでの開催では約120社がブースを出展し、学生は直接企業の担当者と話せる貴重な機会となりました。

ウ キャリアガイダンス「国際機関で働くには@明治大学」を開催

このガイダンスは、国際機関や海外のNPOの職員など、国際的なキャリアを目指す学生向けに行われ、国際協力人材育成プログラムを受講している学生や国際的なキャリアに興味を持つ学生などが参加しました。

エ 明大生×京王百貨店「就活向けパンプス」共同開発

就職キャリア支援センターが、京王グループと協力して2012年度から開催している「産学連携キャリア支援講座」のなかで、「女子学生が履きたいと思う就職活動用の黒パンプス」を京王百貨店と共同開発しました。

1.2 付属高等学校・中学校

(1) 創立100周年記念事業

ア 第1回Englishプレゼンテーション開催

高校2～3年の7名が、パワーポイントを使用し、約5分間英語でプレゼンテーションを行い、「世界に誇る日本の技術」「なぜ日本人はマスクをつけるのか」などそれぞれが設定したテーマについて、在校生800人の前で熱くプレゼンしました。このイベントの入賞者には海外短期留学費用の一部が支給されました。

イ 「卒業生顕彰式」を挙

この表彰式は、明治高等学校を卒業後、学術・文化・スポーツなどの分野で活躍し、優秀な成果を収めた卒業生を称え、今後一層の活躍を奨励するとともに、在校生の模範となるよう顕彰するもので、学部長奨励賞を受賞した現役明大生や、司法試験・公認会計士の合格者など卒業生13名を表彰しました。

ウ 創立100周年記念事業募金寄付者銘板除幕式を挙

創立100周年記念事業募金の寄付者芳名を刻銘した銘板の除幕式を執り行いました。この銘板には個人1口3万円以上、法人・団体1口10万円以上の寄付をいただいた方、スクールバスのラッピングにご協力いただいた企業の芳名が刻印されています。

(2) 高大連携の推進

※ http://www.meiji.ac.jp/ko_chu/feature/kodai.html

ア 高大連携講座

大学進学後、スムーズに大学での学習につながるよう、明治大学各学部の基礎的な内容を、高3生徒に対して毎週2時間、明治大学の教員が調布キャンパスで年間を通して授業を実施しました。

イ プレカレッジプログラム

高2・3の希望する学生が高校在学中に明治大学の授業の一部を受講し、修得し

た単位は、大学入学後に明治大学の学部単位として認定される制度を2013年度も実施しました。

ウ サマーセミナー，スプリングセミナー，ウィンターセミナー

明治大学と連携し、資格の取得、英語力の向上、進路決定の参考等の目的で、夏休み、春休み、高3の3学期の集中講座として、明治大学の各キャンパスや本校で実施しました。

エ 高大連携ブリッジ講座

高3の3学期に、付属校教育の最大の特色の一つとして、高校と大学の学問領域の架け橋を目的とする選択必修講座を開講しました。

(3) 明高中教諭による学部単位科目（授業）の実施

2013年度も政治経済学部において単科科目「応用総合講座 明高中教員による授業」を明高中教諭が講師として担当し、双方向の高大連携を実施しました。

(4) 国際連携主任及び特別常勤講師の設置

2013年度から、グローバル化に対応し、国際教育の強化を図ることを目的として、国際連携主任及び特別常勤講師を設置しました。

以 上

参考資料

(1) 海外協定校一覧

	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	中国	中国人民大学	○	
2		延辺大学	○	
3		華東師範大学	○	
4		清華大学		
5		深圳大学	○	
6		厦門大学	○	
7		上海交通大学	○	
8		中央財経大学	○	
9		雲南農業大学		
10		遼寧大学	○	
11		雲南民族大学		
12		内蒙古工業大学	○	
13		大連外国語学院	○	
14		雲南大学	○	
15		北京大学	○	
16		蘇州大学	○	
17		南京大学	○	
18		中国社会科学院		
19		東華大学		
20		上海対外経貿大学		
21		南京財経大学		
22		中央民族大学	○	
23		大連海事大学		
24		香港中文大学	○	
25	韓国	梨花女子大学	○	
26		高麗大学	○	
27		国立忠北大学	○	
28		同徳女子大学	○	
29		国立慶北大学		
30		仁荷大学	○	
31		大邱大学	○	
32		淑明女子大学	○	
33		慶尚大学	○	
34		西江大学	○	
35		延世大学		学生交流は政治経済学部のみ実施
36		嶺南大学	○	
37		中央大学		
38		大田大学	○	
39		全北大学		学生交流は情報コミュニケーション学部のみ実施
40		慶熙大学	○	
41		漢陽大学	○	
42		済州大学	○	
43		崇実大学	○	
44		台湾	国立台湾大学	○
45	中国文化大学		○	
46	虎尾科技大学		○	
47	国立台北大学		○	
48	国立嘉義大学		○	
49	中原大学			
50	国立屏東科技大学			
51	南台科技大学			
52	国立高雄応用科技大学		○	
53	環球科技大学			
54	淡江大学			
55	ベトナム	ノンラン大学		
56		ハノイ貿易大学	○	
57		ハノイ大学	○	
58		ホーチミン市国家大学人文社会科学大学		

59	ベトナム	ハノイ国家大学外国語大学	○	
60		ハノイ国家大学人文社会科学大学		
61	ラオス	ラオス国立大学		
62	マレーシア	マレーシア工科大学	○	
63		マレーシア科学大学	○	
64		マラヤ大学	○	
65		マレーシア・サラワク大学	○	
66		ペトロナス工科大学	○	
67		マレーシア・サバ大学		
68	シンガポール	シンガポール経営大学	○	
69	タイ	キングモンクット工科大学ラカバン校	○	
70		チュラロンコン大学	○	学生交流は政治経済学部・理工学部のみ実施
71		シーナカリンウィロート大学	○	学生交流は政治経済学部・経営学部・情報コミュニケーション学部のみ実施
72		プリンスオブソンクラーク大学		
73		泰日工業大学		
74	インドネシア	バンドン工科大学	○	
75		インドネシア大学		
76	フィリピン	フィリピン大学ディリマン校	○	
77		アテネオ・デ・マニラ大学		
78		デ・ラ・サール大学		
79	インド	インド科学院大学	○	
80		インド統計大学		
81	モンゴル	モンゴル国立大学		
82	豪州	西シドニー大学	○	
83		サンシャインコースト大学	○	
84		ニューサウスウェールズ大学	○	
85		南オーストラリア大学		
86		クイーンズランド工科大学		
87		アデレード大学	○	
88		マッコーリー大学	○	
89	サウジアラビア	アブドゥルアジズ国王大学		
90	トルコ	中東工科大学	○	
91		ボアジチ大学 (ボスボラス大学)		
92	タンザニア	ダルエスサラーム大学		
93	英国	シェフィールド大学	○	
94		ケンブリッジ大学ヒューズ・ホール・カレッジ		
95		ヨーク・セント・ジョン大学		
96		ロンドン大学クイーン・メアリー・カレッジ		
97		マンチェスター大学 人文科学部	○	
98		オックスフォード大学ハートフォード校		
99		バーミンガム大学		
100		ブライトン大学		
101		イースト・アングリア大学	○	
102		イーストロンドン大学		
103	ドイツ	フリードリヒ・シラー大学 (イエーナ大学)	○	
104		ツェッペリン大学		
105		ジーゲン大学	○	
106		パッサウ大学	○	
107		ハインリッヒ・ハイネ大学 (デュッセルドルフ大学)	○	
108	フランス	ランス大学	○	
109		パリ第1大学 (パンテオン・ソルボンヌ)		
110		パリ第9大学 (ドフィーヌ)		
111		トゥールーズ第1社会科学大学	○	
112		フランス国立東洋言語文化研究学院 (INALCO)	○	
113		リヨン第3大学	○	
114		ヴェルサイユ大学	○	
115		パリ第3大学 (ソルボンヌ・ヌーベル)	○	
116		エクス・マルセイユ大学 (旧プロヴァンス大学)	○	
117		パリ・ディドロ大学 (パリ第7大学)	○	
118		モダール・インターナショナル学院		
119		リヨン政治学院	○	

120	フランス	ジョセフ・フーリエ大学		
121		ストラスブール大学	○	
122	オーストリア	ウィーン大学	○	
123	スウェーデン	リンシェーピン大学	○	
124		セーデルトーン大学	○	
125	スイス	チューリッヒ大学	○	
126	イタリア	シエナ大学	○	
127		ヴェネツィア大学	○	
128		ミラノ大学	○	
129		フィレンツェ大学		
130		シエナ外国人大学	○	
131		国際連合食糧農業機関 (FAO)		
132	スペイン	アリカンテ大学		
133		ロビーラ・イ・ビルジリ大学		
134		バレンシア大学	○	
135		モンドragon大学		
136	ギリシャ	クレタ大学		
137	ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学		
138	ロシア	ブレハーノフ経済大学	○	
139		クラスノヤルスク教育大学	○	
140		国立経営大学	○	
141		モスクワ国立大学	○	
142		サンクトペテルブルク国立工学・経済大学		
143		サンクトペテルブルク国立サービス・経済大学		
144		モスクワ国際関係大学		
145		ロシア国立研究大学高等経済学院		
146		オムスク国立大学		
147	ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学	○	
148	ポーランド	ウッジ大学	○	
149		ボズナン経済大学		
150	リトアニア	ヴィータウタス・マグヌス大学		
151	ルーマニア	ブカレスト大学	○	
152	ブルガリア	ソフィア大学	○	
153	セルビア	ベオグラード大学	○	
154	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ大学		
155		バニャルカ大学		
156	米国	オレゴン大学	○	
157		アイオワ大学	○	
158		サザンイリノイ大学カーボンデール校	○	
159		SUNYニューバルツ校	○	
160		アラバマ大学	○	
161		ミズーリ州立大学	○	
162		カンザス大学		
163		ノースイースタン大学	○	
164		南カリフォルニア大学		
165		メンフィス大学	○	
166		カリフォルニア大学バークレー校		
167		テンプル大学	○	
168		カリフォルニア大学デービス校		
169		南ユタ大学	○	
170		ラトガース大学		
171		ニューヨーク州立大学バッファロー校	○	
172		カリフォルニア州立大学フラトン校		
173		ネブラスカ大学オマハ校	○	
174		北テキサス大学		
175		ミネソタ州立大学モアヘッド校		
176	ペンシルベニア州立大学 教養学部	○		
177	カナダ	ヨーク大学	○	
178		アルバータ大学	○	
179		ヴィクトリア大学		学生交流は経営学部のみ実施
180		モントリオール大学	○	
181		マクマスター大学		
182		ユーコン・カレッジ		

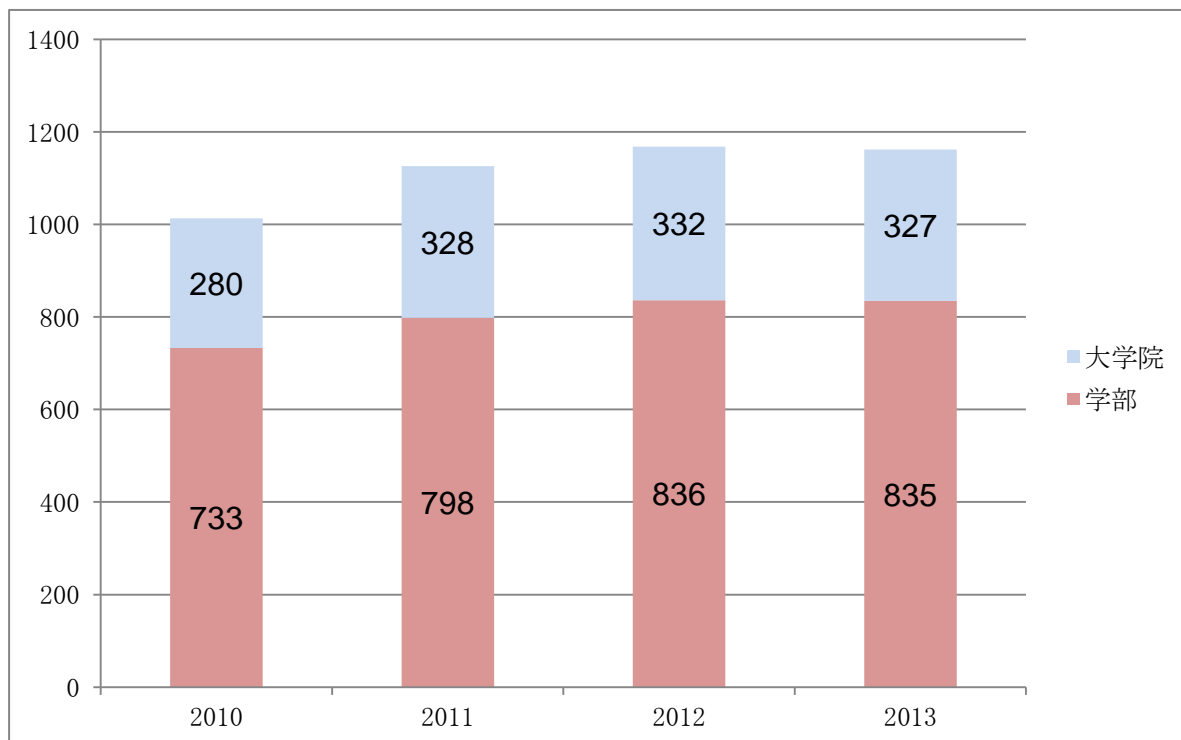
183	カナダ	ラヴァル大学		
184	メキシコ	メキシコ国立自治大学	○	
185		グアナファト大学	○	
186		FAAP - アルマンド・アルバレス・ペンチアード大学	○	
187		サンパウロ大学		
188	アルゼンチン	ラプラタ国立大学		
				計 188大学

学部間等協定校				
	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	中国	北京師範大学 歴史学院	○	文学部
2		中山大学 国際商学院	○	経営学部
3		対外経済貿易学院 国際商学院	○	経営学部
4		香港城市大学 商学院	○	経営学部
5		香港城市大学 人文社会学部	○	情報コミュニケーション学部
6	韓国	ソウル大学 経営学部	○	経営学部
7		又松大学 経営大学院	○	経営学研究科
8		韓国刑事政策研究院		法学研究科
9	台湾	国立台湾科技大学 設計学院		理工学部
10		弘光科技大学 工学部	○	理工学部
11		国立台北科技大学 機械電気工学部		理工学部
12		国立台湾大学 農業経済学部		農学部
13	シンガポール	シンガポール国立大学 設計・環境学部	○	理工学部
14		南洋理工大学 人文社会科学部	○	政治経済学部
15	タイ	キングモンクット工科大学トンブリ校 生物資源工学部		農学部
16		カセサート大学カンペンセン校 農学部	○	農学部
17		タマサート大学 政治学部	○	政治経済学部
18	南アフリカ	ケープタウン大学 工学・建築環境学部		理工学部
19	英国	カーディフ大学	○	商学部
20	ドイツ	ブレーメン州立経済工科大学	○	商学部
21		ビーレフェルト大学 言語学・文学部	○	文学部
22		バンベルク大学 人文学部(文)	○	文学部
23		オスナブリュック応用科学大学 経営管理・社会科学部	○	経営学部
24	フランス	レンヌ商科大学	○	商学部
25		パリ商業高等大学	○	商学部
26		ESCEM-トゥール商業大学院大学	○	経営学部
27		パリ国立建築大学ラヴィレット校(理工)	○	理工学部
28		IPAGビジネススクール	○	経営学部
29		レンヌ第一大学 経営学院	○	経営学研究科
30		オーデンシア・ナント経営学院	○	経営学研究科
31		パリカトリック大学 パリ電子工学院		理工学部
32	スペイン	IE大学	○	経営学部
33	ベルギー	ゲント大学 生物科学工学部		農学部
34	米国	インディアナ大学・パーデュー大学インディアナポリス校		国際日本学部
35		フロリダ州立大学		国際日本学部
36		アイオワ州立大学 農学・生命科学部		農学部
37		ハワイ大学マノア校熱帯農業人的資源学部 (CTAHR)		農学部
38		デューク大学 大学院及びアジア太平洋研究所	○	政治経済学研究科
39	カナダ	サスカチュワン大学 農学・生物資源学部		農学部
				計 39大学

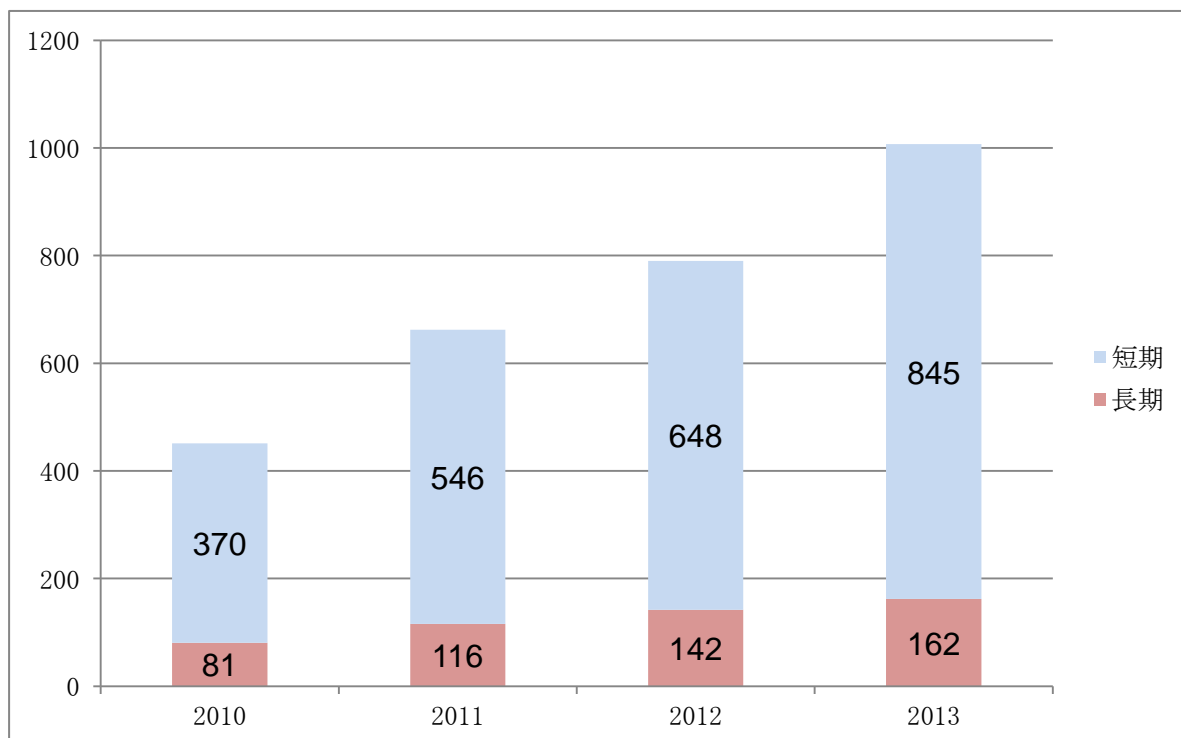
その他部局間(研究所間) 協定校				
	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	台湾	台湾国立交通大学 数学建模科学計算研究所 (IMMSC)		先端数理科学インスティテュート
2	ベトナム	ベトナム・ハノイ数学研究所 (IMVAST)		先端数理科学インスティテュート
3	英国	オックスフォード大学数理生物学センター (CMB)		先端数理科学インスティテュート
4	フランス	フランス国立社会科学高等研究院社会数理解析センター (CAMS)		先端数理科学インスティテュート
5	イタリア	イタリアCNR応用数学研究所 (IAC)		先端数理科学インスティテュート
6	スペイン	マドリード・コンプルテンセ大学 学際数学研究所 (IMI)		先端数理科学インスティテュート
7	ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部極東地質学研究所		黒耀石研究センター
				計 7大学

(2)外国人受入留学生数及び海外派遣留学生数

①外国人受入留学生数（各年度5月1日現在）



②海外派遣留学生数（各年度3月31日現在）



(3)2014年度一般入学試験結果

①一般選抜入学試験結果

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者/合格者		
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子						
法学部 法律学科	350	4,097	2,905	1,192	3,430	2,454	976	940	663	277	350	237	67.7	3.6		
商学部 商学科	450	6,586	4,720	1,866	5,692	4,091	1,601	1,213	892	321	350	239	68.3	4.7		
政治経済学部	政治学科	110	1,679	1,243	436	1,536	1,146	390	510	369	141	350	231	66.0	3.0	
	経済学科	300	4,318	3,573	745	4,061	3,363	698	1,100	915	185	350	223	63.7	3.7	
	地域行政学科	70	552	417	135	527	396	131	142	109	33	350	216	61.7	3.7	
	計	480	6,549	5,233	1,316	6,124	4,905	1,219	1,752	1,393	359				3.5	
文学部	文学科	日本文学	64	883	378	505	778	331	447	171	62	109	300	213	71.0	4.5
		英米文学	62	730	329	401	644	287	357	183	70	113	300	209	69.7	3.5
		ドイツ文学	18	223	73	150	200	66	134	55	16	39	300	203	67.7	3.6
		フランス文学	21	251	72	179	228	66	162	66	24	42	300	203	67.7	3.5
		演劇学	25	390	128	262	351	114	237	66	21	45	300	209	69.7	5.3
		文芸メディア	35	740	291	449	657	257	400	116	38	78	300	215	71.7	5.7
	史学地理学科	日本史学	44	883	572	311	791	520	271	147	91	56	300	220	73.3	5.4
		アジア史	18	251	144	107	220	124	96	54	29	25	300	209	69.7	4.1
		西洋史学	28	506	297	209	436	250	186	98	63	35	300	214	71.3	4.4
		考古学	22	256	131	125	231	116	115	41	18	23	300	207	69.0	5.6
	心理社会学科	地理学	26	224	164	60	204	151	53	55	45	10	300	195	65.0	3.7
		臨床心理学	21	551	202	349	492	186	306	67	20	47	300	217	72.3	7.3
		現代社会学	22	407	181	226	349	160	189	68	28	40	300	218	72.7	5.1
計	406	6,295	2,962	3,333	5,581	2,628	2,953	1,187	525	662				4.7		
理工学部	電気電子生命学科	111	1,210	1,081	129	1,147	1,026	121	385	341	44	360	232	64.4	3.0	
	機械工学科	65	1,784	1,704	80	1,724	1,649	75	417	399	18	360	256	71.1	4.1	
	機械情報工学科	61	701	654	47	673	630	43	211	194	17	360	231	64.2	3.2	
	建築学科	80	1,748	1,340	408	1,690	1,297	393	295	210	85	360	253	70.3	5.7	
	応用化学科	50	1,719	1,357	362	1,677	1,324	353	361	281	80	360	263	73.1	4.6	
	情報科学科	56	1,185	1,079	106	1,125	1,023	102	246	225	21	360	250	69.4	4.6	
	数学科	30	487	427	60	468	414	54	123	112	11	360	245	68.1	3.8	
	物理学科	30	847	767	80	803	727	76	253	236	17	360	260	72.2	3.2	
計	483	9,681	8,409	1,272	9,307	8,090	1,217	2,291	1,998	293				4.1		
農学部	農学科	77	1,601	1,054	547	1,344	889	455	256	170	86	300	208	69.3	5.3	
	農芸化学科	77	1,314	610	704	1,098	518	580	210	107	103	300	209	69.7	5.2	
	生命科学科	82	1,875	1,106	769	1,551	927	624	294	165	129	300	212	70.7	5.3	
	食料環境政策学科	70	1,079	658	421	952	580	372	173	98	75	300	208	69.3	5.5	
計	306	5,869	3,428	2,441	4,945	2,914	2,031	933	540	393				5.3		
経営学部	経営学科	200	5,513	4,040	1,473	5,312	3,884	1,428	1,002	739	263	350	236	67.4	5.3	
	会計学科	85	1,029	738	291	993	713	280	221	149	72	350	225	64.3	4.5	
	公共経営学科	45	936	655	281	904	632	272	150	117	33	350	228	65.1	6.0	
計	330	7,478	5,433	2,045	7,209	5,229	1,980	1,373	1,005	368				5.3		
情報コミュニケーション学部	A方式 情報コミュニケーション学科	310	4,330	2,387	1,943	4,207	2,322	1,885	986	525	461	450	254	56.4	4.3	
	B方式 情報コミュニケーション学科	20	64	53	11	59	48	11	25	19	6	450	287	63.8	2.4	
計	330	4,394	2,440	1,954	4,266	2,370	1,896	1,011	544	467				4.2		
国際日本学部	国際日本学科	180	3,788	1,302	2,486	3,638	1,236	2,402	690	224	466	450	353	78.4	5.3	
総合数理学部	現象数理学科	32	856	728	128	741	631	110	101	88	13	320	185	57.8	7.3	
	先端メディアサイエンス学科	40	985	763	222	857	659	198	103	79	24	320	180	56.3	8.3	
	ネットワークデザイン学科	30	584	492	92	517	439	78	66	55	11	320	161	50.3	7.8	
計	102	2,425	1,983	442	2,115	1,729	386	270	222	48				7.8		
一般選抜入学試験 合計		3,417	57,162	38,815	18,347	52,307	35,646	16,661	11,660	8,006	3,654				4.5	

②大学入試センター試験利用入学試験結果

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者／合格者			
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子				
法学部	3科目方式	法律学科	50	1,701	1,117	584	1,697	1,115	582	423	259	164	4.0	
	4科目方式	法律学科	40	696	455	241	693	453	240	373	243	130	1.9	
	5科目方式	法律学科	30	761	563	198	760	562	198	421	310	111	1.8	
	計		120	3,158	2,135	1,023	3,150	2,130	1,020	1,217	812	405	2.6	
商学部	3科目方式	商学科	50	2,045	1,375	670	2,040	1,370	670	224	148	76	9.1	
	4科目方式	商学科	40	972	693	279	971	693	278	273	194	79	3.6	
	6科目方式	商学科	15	873	623	250	873	623	250	268	198	70	3.3	
	計		105	3,890	2,691	1,199	3,884	2,686	1,198	765	540	225	5.1	
政治経済学部	3科目方式	政治学科	15	546	387	159	545	386	159	59	38	21	9.2	
		経済学科	25	871	675	196	870	674	196	86	68	18	10.1	
	7科目方式	政治学科	15	525	358	167	523	357	166	323	213	110	1.6	
		経済学科	50	1,918	1,579	339	1,900	1,563	337	1,027	852	175	1.9	
		地域行政学科	15	168	118	50	167	117	50	82	54	28	2.0	
計		120	4,028	3,117	911	4,005	3,097	908	1,577	1,225	352	2.5		
文学部	3科目方式	文学科	日本文学専攻	6	428	183	245	422	177	245	79	25	54	5.3
			英米文学専攻	6	299	136	163	294	133	161	60	26	34	4.9
			ドイツ文学専攻	2	68	21	47	68	21	47	20	6	14	3.4
			フランス文学専攻	2	101	24	77	101	24	77	24	4	20	4.2
			演劇学専攻	3	184	53	131	183	52	131	19	4	15	9.6
			文芸メディア専攻	4	343	129	214	341	127	214	49	12	37	7.0
		史学地理学科	日本史学専攻	5	294	184	110	293	184	109	48	27	21	6.1
			アジア史専攻	3	102	52	50	102	52	50	33	17	16	3.1
			西洋史学専攻	4	235	129	106	235	129	106	42	19	23	5.6
			考古学専攻	3	95	40	55	95	40	55	24	5	19	4.0
			地理学専攻	4	102	74	28	102	74	28	21	12	9	4.9
			臨床心理学専攻	4	255	90	165	255	90	165	27	8	19	9.4
	心理社会学科	現代社会学専攻	4	198	91	107	191	87	104	50	21	29	3.8	
		計		79	3,389	1,569	1,820	3,343	1,541	1,802	705	297	408	4.7
	5科目方式	文学科	日本文学専攻	3	97	42	55	93	40	53	29	11	18	3.2
			英米文学専攻	3	60	34	26	55	30	25	19	10	9	2.9
			ドイツ文学専攻	2	14	7	7	14	7	7	6	4	2	2.3
			フランス文学専攻	2	22	5	17	20	5	15	8	2	6	2.5
			演劇学専攻	2	38	16	22	33	14	19	8	4	4	4.1
			文芸メディア専攻	2	47	19	28	45	18	27	12	4	8	3.8
		史学地理学科	日本史学専攻	3	93	64	29	92	64	28	31	21	10	3.0
			アジア史専攻	2	27	18	9	26	17	9	13	10	3	2.0
			西洋史学専攻	2	58	41	17	57	41	16	18	11	7	3.2
			考古学専攻	2	37	21	16	36	20	16	10	6	4	3.6
			地理学専攻	2	52	39	13	51	38	13	20	15	5	2.6
			臨床心理学専攻	2	82	25	57	81	25	56	16	3	13	5.1
		心理社会学科	現代社会学専攻	2	58	32	26	58	32	26	19	10	9	3.1
計				79	3,389	1,569	1,820	3,343	1,541	1,802	705	297	408	4.7
理工学部		3教科方式	電気電子生命学科	10	785	700	85	783	698	85	227	191	36	3.4
	機械工学科		5	1,099	1,043	56	1,097	1,041	56	253	237	16	4.3	
	機械情報工学科		9	639	598	41	637	596	41	198	187	11	3.2	
	情報科学科		7	929	817	112	924	812	112	274	230	44	3.4	
	4教科方式	電気電子生命学科	8	329	271	58	325	268	57	110	83	27	3.0	
		機械工学科	5	522	474	48	517	469	48	168	156	12	3.1	
		建築学科	12	1,035	722	313	1,034	721	313	267	170	97	3.9	
		応用化学科	7	1,062	772	290	1,058	768	290	268	182	86	3.9	
		数学科	4	362	307	55	360	305	55	125	106	19	2.9	
		物理学科	7	513	448	65	510	445	65	168	148	20	3.0	
		計		74	7,275	6,152	1,123	7,245	6,123	1,122	2,058	1,690	368	3.5

前期日程

前期日程	農学部	農学	15	790	487	303	782	481	301	187	106	81	4.2	
		農芸化学	15	657	284	373	654	282	372	173	62	111	3.8	
		生命科学	15	1,028	597	431	1,019	589	430	236	126	110	4.3	
		食料環境政策学	15	395	220	175	394	220	174	101	51	50	3.9	
		計	60	2,870	1,588	1,282	2,849	1,572	1,277	697	345	352	4.1	
	経営学部	経営学	20	936	679	257	792	581	211	273	190	83	2.9	
		会計学	10	321	205	116	281	178	103	103	61	42	2.7	
		公共経営学	5	204	146	58	179	132	47	56	43	13	3.2	
		計	35	1,461	1,030	431	1,252	891	361	432	294	138	2.9	
	情報コミュニケーション学部	3科目方式	情報コミュニケーション学	30	1,355	765	590	1,348	761	587	266	159	107	5.1
		6科目方式	情報コミュニケーション学	10	232	132	100	228	130	98	71	35	36	3.2
		計	40	1,587	897	690	1,576	891	685	337	194	143	4.7	
	国際日本学部	3科目方式	国際日本学	20	1,556	510	1,046	1,553	507	1,046	280	82	198	5.5
		4科目方式	国際日本学	10	403	156	247	402	156	246	132	57	75	3.0
		計	30	1,959	666	1,293	1,955	663	1,292	412	139	273	4.7	
	総合数理学部	現象数理学	7	323	262	61	323	262	61	35	28	7	9.2	
		先端メディアサイエンス学	9	491	344	147	487	341	146	49	34	15	9.9	
		ネットワークデザイン学	7	117	92	25	115	90	25	22	15	7	5.2	
		計	23	931	698	233	925	693	232	106	77	29	8.7	
前期日程 小計			686	30,548	20,543	10,005	30,184	20,287	9,897	8,306	5,613	2,693	3.6	

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者/合格者		
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子			
商学部	商学	18	144	99	45	133	90	43	60	43	17	2.2	
政治経済学部	政治学	5	18	14	4	18	14	4	8	6	2	2.3	
	経済学	10	60	50	10	49	42	7	26	24	2	1.9	
	地域行政学	5	13	9	4	11	7	4	6	4	2	1.8	
	計	20	91	73	18	78	63	15	40	34	6	2.0	
文学部※	文学科	日本文学専攻	1	25	12	13	25	12	13	4	2	2	6.3
		英米文学専攻	1	22	10	12	22	10	12	6	4	2	3.7
		ドイツ文学専攻	1	13	5	8	13	5	8	3	2	1	4.3
		フランス文学専攻	1	13	5	8	13	5	8	4	3	1	3.3
		演劇学専攻	1	7	3	4	7	3	4	2	0	2	3.5
		文芸メディア専攻	1	27	12	15	27	12	15	6	1	5	4.5
	史学地理学科	日本史学専攻	1	10	4	6	10	4	6	2	1	1	5.0
		アジア史専攻	1	8	4	4	8	4	4	1	1	0	8.0
		西洋史学専攻	1	9	4	5	9	4	5	1	1	0	9.0
		考古学専攻	1	16	10	6	15	9	6	4	2	2	3.8
		地理学専攻	1	17	10	7	17	10	7	2	1	1	8.5
	心理社会学科	臨床心理学専攻	1	25	9	16	25	9	16	8	2	6	3.1
		現代社会学専攻	1	22	11	11	22	11	11	2	0	2	11.0
計	13	214	99	115	213	98	115	45	20	25	4.7		
理工学部	電気電子生命学	1	76	56	20	76	56	20	43	27	16	1.8	
	機械情報工	1	63	57	6	63	57	6	21	18	3	3.0	
	建築学	1	72	56	16	72	56	16	12	9	3	6.0	
	応用化学	1	118	79	39	118	79	39	19	13	6	6.2	
	情報科学	1	55	45	10	55	45	10	20	16	4	2.8	
	数学	1	38	32	6	38	32	6	17	13	4	2.2	
	物理学	1	37	27	10	37	27	10	13	10	3	2.8	
計	7	459	352	107	459	352	107	145	106	39	3.2		
総合数理学部	現象数理学	1	50	33	17	50	33	17	10	7	3	5.0	
	先端メディアサイエンス学	1	53	35	18	53	35	18	15	11	4	3.5	
	ネットワークデザイン学	1	45	37	8	45	37	8	22	16	6	2.0	
	計	3	148	105	43	148	105	43	47	34	13	3.1	
後期日程 小計			61	1,056	728	328	1,031	708	323	337	237	100	3.1
大学入試センター試験利用入学試験 合計			747	31,604	21,271	10,333	31,215	20,995	10,220	8,643	5,850	2,793	3.6

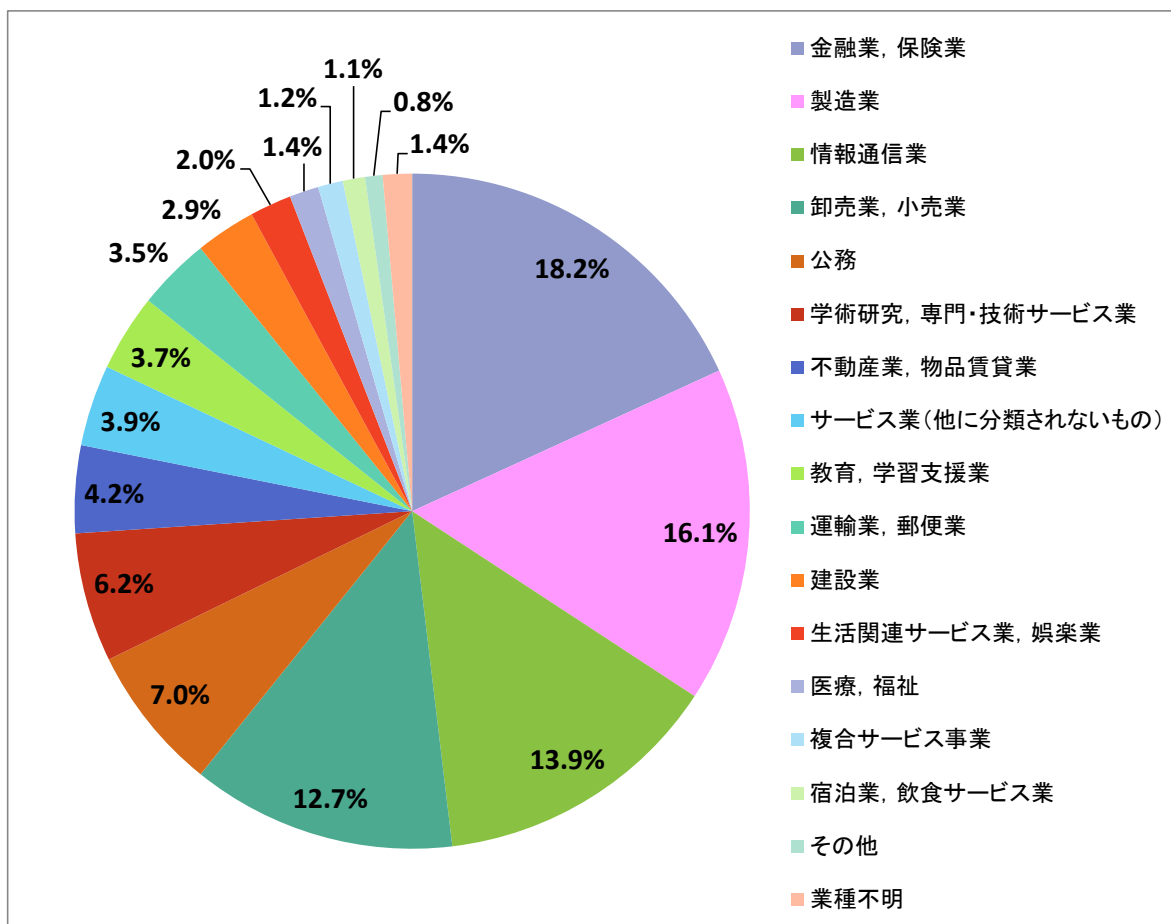
③全学部統一入学試験結果

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者/合格者		
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子						
法学部 法学科	100	1,685	1,161	524	1,619	1,118	501	414	290	124	300	232	77.3	3.9		
商学部 商学科	60	1,647	1,100	547	1,599	1,068	531	250	171	79	450	359	79.8	6.4		
政治経済学部	政治学科	15	177	133	44	122	91	31	42	26	16	450	324	72.0	2.9	
	経済学科	30	607	498	109	477	393	84	161	139	22	450	329	73.1	3.0	
	地域行政学科	10	97	70	27	71	57	14	17	14	3	450	315	70.0	4.2	
	計	55	881	701	180	670	541	129	220	179	41				3.0	
文学部	文学科	日本文学専攻	12	306	130	176	300	128	172	77	31	46	300	227	75.7	3.9
		英米文学専攻	12	287	118	169	280	114	166	75	32	43	300	221	73.7	3.7
		ドイツ文学専攻	2	51	19	32	51	19	32	13	4	9	300	220	73.3	3.9
		フランス文学専攻	3	65	17	48	64	17	47	16	7	9	300	220	73.3	4.0
		演劇学専攻	4	208	58	150	205	58	147	23	8	15	300	233	77.7	8.9
		文芸メディア専攻	5	269	112	157	265	110	155	55	23	32	300	231	77.0	4.8
	史学地理学科	日本史学専攻	9	296	182	114	292	179	113	67	38	29	300	234	78.0	4.4
		アジア史専攻	3	85	50	35	85	50	35	25	17	8	300	223	74.3	3.4
		西洋史学専攻	6	180	108	72	177	107	70	47	29	18	300	229	76.3	3.8
		考古学専攻	3	90	43	47	85	40	45	23	13	10	300	221	73.7	3.7
	心理社会学科	地理学専攻	4	85	60	25	82	57	25	30	22	8	300	221	73.7	2.7
		臨床心理学専攻	8	259	97	162	252	95	157	47	16	31	300	227	75.7	5.4
		現代社会学専攻	8	235	114	121	229	111	118	66	34	32	300	224	74.7	3.5
	計	79	2,416	1,108	1,308	2,367	1,085	1,282	564	274	290				4.2	
理工学部	電気電子生命学科	21	434	397	37	397	363	34	129	119	10	400	280	70.0	3.1	
	機械工学科	10	531	500	31	485	456	29	112	103	9	400	306	76.5	4.3	
	機械情報工学科	10	232	222	10	211	201	10	59	57	2	400	278	69.5	3.6	
	建築学科	15	508	387	121	471	360	111	93	72	21	400	308	77.0	5.1	
	応用化学科	9	518	388	130	485	363	122	90	67	23	400	309	77.3	5.4	
	情報科学科	7	397	341	56	375	320	55	65	56	9	400	302	75.5	5.8	
	数学科	4	234	197	37	222	188	34	45	39	6	400	309	77.3	4.9	
	物理学科	4	185	165	20	166	147	19	46	42	4	400	302	75.5	3.6	
計	80	3,039	2,597	442	2,812	2,398	414	639	555	84				4.4		
農学部	農学科	15	520	339	181	490	320	170	75	49	26	300	236	78.7	6.5	
	農芸化学科	15	483	220	263	463	210	253	58	25	33	300	234	78.0	8.0	
	生命科学科	10	566	327	239	530	304	226	55	31	24	300	242	80.7	9.6	
	食料環境政策学科	10	318	195	123	310	188	122	53	26	27	300	220	73.3	5.8	
計	50	1,887	1,081	806	1,793	1,022	771	241	131	110				7.4		
経営学部	経営学科	20	1,147	792	355	1,114	769	345	205	150	55	350	270	77.1	5.4	
	会計学科	5	209	136	73	204	132	72	62	38	24	350	255	72.9	3.3	
	公共経営学科	5	229	160	69	227	159	68	39	31	8	350	263	75.1	5.8	
計	30	1,585	1,088	497	1,545	1,060	485	306	219	87				5.0		
情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学科	20	1,341	673	668	1,299	646	653	170	89	81	350	271	77.4	7.6	
国際日本学部	国際日本学科	28	1,114	365	749	1,095	359	736	158	60	98	400	320	80.0	6.9	
総合数理学部	3科目方式	現象数理学科	8	82	61	21	73	53	20	15	10	5	400	282	70.5	4.9
		先端メディアサイエンス学科	12	129	82	47	112	67	45	24	15	9	400	258	64.5	4.7
		ネットワークデザイン学科	7	68	48	20	61	42	19	12	8	4	400	264	66.0	5.1
	4科目方式	現象数理学科	13	264	214	50	253	206	47	55	43	12	500	358	71.6	4.6
		先端メディアサイエンス学科	14	433	335	98	421	326	95	69	54	15	500	366	73.2	6.1
		ネットワークデザイン学科	14	175	155	20	171	151	20	39	31	8	500	338	67.6	4.4
計	68	1,151	895	256	1,091	845	246	214	161	53				5.1		
全学部統一入学試験 合計		570	16,746	10,769	5,977	15,890	10,142	5,748	3,176	2,129	1,047				5.0	

一般入学試験 総計	4,734	105,512	70,855	34,657	99,412	66,783	32,629	23,479	15,985	7,494				4.2
-----------	-------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--	--	--	-----

(4) 業種別就職状況及び主な就職先

①業種別就職状況



②主な就職先

順位	内定先名称	人数
1	(株)みずほフィナンシャルグループ	69
2	(株)三菱東京UFJ銀行	64
3	東日本旅客鉄道(株)	48
4	東京特別区	47
5	りそなグループ	39
6	日本郵政グループ	36
7	(株)三井住友銀行	31
7	国家公務員 一般職	31
9	(株)千葉銀行	28
9	SMBC日興証券(株)	28
11	ソフトバンクグループ	25
11	(株)大和証券グループ本社	25
13	野村証券(株)	22
14	東京都庁	20
15	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	17
15	(株)LIXIL	17
17	国税専門官	16
17	損害保険ジャパン日本興亜(株)	16
17	東日本電信電話(株)	16

順位	内定先名称	人数
17	三井住友海上火災保険(株)	16
17	三菱電機(株)	16
22	警視庁	15
22	(株)ニトリホールディングス	15
24	(株)静岡銀行	14
24	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	14
26	神奈川県教育委員会	13
26	(株)セブン-イレブン・ジャパン	13
26	日本生命保険(相)	13
26	日本年金機構	13
26	日本放送協会	13
26	(株)ファーストリテイリング	13
26	三井住友信託銀行(株)	13
26	(株)三越伊勢丹	13
34	JTBグループ【旅行事業会社群】	12
34	(株)商工組合中央金庫	12
34	日本電気(株)	12
34	本田技研工業(株)	12
38	第一生命保険(株)	11

2014年3月31日現在